

# 令和2年度高大連携「ウィンター・セッション」プログラム概要

プログラム名：「 地域創生とグローバル化ー先導する大学ー 」

岩手大学 募集人数 250 名

会場：岩手大学学生センター棟  
(住所) 盛岡市上田3-18-34  
(電話) 019-621-6092

交通案内：  
盛岡駅から岩手県交通バス（バスターミナル11番乗り場）の駅上田線「松園バスターミナル行き」、または駅桜台団地線「桜台団地行き」に乗りし、「岩手大学前」で下車

プログラム紹介：  
本学は、「岩手の“大地”と“ひと”とともに」を校是に掲げ、被災県にある国立大学として復興推進や支援はもとより、地域活性化の中核的拠点として教育・研究・社会貢献活動を積極的に取り組んでいます。

本学では、地域に根ざしながら、同時に世界的視野を持った「グローバルな大学」を目指しています。地域活性化の先導役としての本学の役割を果たしていくとともにグローバルな視点で地域の産業・行政・教育等の分野で指導的役割を果たすことができる人材の育成をしていきます。

今回のウィンター・セッションでは、本学が取り組んでいる教育・研究等について、地域（岩手）社会と国際的な視点から学んでみましょう。

## 講師

小川 智	学長
喜多 一美	理事（教育・学生・IR担当）・副学長
中村 安宏	教授（人文社会科学部）
寺崎 正紀	教授（人文社会科学部）
川村 和宏	准教授（人文社会科学部）
麦倉 哲	教授（教育学部）
馬渡健太郎	准教授（教育学部）
藪 敏裕	国際教育センター長
高木 浩一	教授（理工学部）
宇井 幸一	准教授（理工学部）
宮島 信也	教授（理工学部）
山内 貴義	准教授（農学部）
立石 貴浩	准教授（農学部）
小田 伸一	准教授（農学部）
尾中 夏美	教授（教育推進機構）

## スケジュール

### 12月25日（金）

13:00～13:30 受付  
13:30～13:50 開講式  
13:50～14:30 全体講演  
「大学で何を学ぶのか」  
喜多 一美 理事（教育・学生・IR担当）・副学長  
14:45～16:15 第一講義  
講義①「靈魂をめぐる日本の歴史」  
中村 安宏 教授  
講義②「地域創生モデルの構築へーいわての防災教育・復興教育ー」  
麦倉 哲 教授  
講義③「変幻自在のエネルギー「でんき」  
～その性質と、きのこを大きくする  
ひみつを探る～」  
高木 浩一 教授  
講義④「何故クマを数える？  
～ツキノワグマの生態と、  
共存に向けた取り組み」  
山内 貴義 准教授  
講義⑤「漢字語源研究の現在」  
藪 敏裕 国際教育センター長  
16:25～16:30 諸連絡

### 12月26日（土）

8:10～ 8:55 受付（出席確認）  
9:10～10:30 第二講義  
講義⑥「はじめての環境リスク学講座  
ーリスクを政策に活かすー」  
寺崎 正紀 教授  
講義⑦「ILCで解き明かす宇宙の謎?!」  
馬渡 健太郎 准教授  
講義⑧「未来を創る化学電池」  
宇井 幸一 准教授  
講義⑨「地球の生命を支える土壌」  
立石 貴浩 准教授  
10:45～12:05 第三講義  
講義⑩「メルヒェン翻案と東北地方における  
再昔話化現象を考える」  
川村 和宏 准教授  
講義⑪「コンピュータが計算ミス？」  
宮島 信也 教授  
講義⑫「草食動物の栄養」  
小田 伸一 准教授  
講義⑬「グローバルなマインドと  
ローカルなアクション」  
尾中 夏美 教授  
12:15～12:30 閉講式

※第一講義、第二講義及び第三講義は、希望するいずれかの講義を受講していただきます。

「受講申込書」に各時間で受講を希望する講義番号（○数字）を記入してください。

## 令和2年度高大連携「ウインター・セッション」プログラム概要

<b>プログラム名： 生まれるいのち、育ついのち</b>	
<b>岩手県立大学 看護学部 募集人数40名</b>	
<b>会場：</b> 岩手県立大学 <b>講義実施会場：</b> 看護学部棟102・103講義室  <b>連絡先：</b> 岩手県立大学 教育支援室入試グループ (住所)滝沢市巢子152-52 (電話)019-694-2034  <b>交通案内：</b> (盛岡駅から) ・電車・・・IGRいわて銀河鉄道 滝沢駅下車(15分)、滝沢駅から徒歩15分 ・バス・・・岩手県交通 盛岡駅東口バス乗り場② 所要時間40分  <b>プログラム紹介：</b> 看護学は人間のいのちと健康状態を高める支援をする専門領域のひとつです。今回は、生まれてくる「いのち」と生まれてきた「いのち」の生きる力を科学的に理解し、「いのち」を育てる支援について学びましょう。 「いのち」の尊さやすばらしさを学び、自分自身のいのちを実感するとともに、人間の生命や尊厳について考えを深める機会にしていきたいと思います。  <b>担当講師：</b> 教授 白畑範子 教授 福島裕子 准教授 アンガホッフア司寿子 准教授 原瑞恵 講師 金谷掌子 講師 谷地和加子 講師 木地谷祐子 助教 伊東佐由美 助手 伊藤沙織 非常勤助手 福士友	<b>スケジュール (予定)</b>  <b>12月25日 (金)</b> 13:00～13:30 受付 13:30～13:50 開講式 13:50～14:30 全体講演 「大学で何を学ぶのか」 講演者：鈴木 厚人 学長 14:45～16:15 <b>第1講義 (看護学部棟102・103講義室)</b> 「妊娠をする力 (仮)」 担当者：母性看護学教育研究分野  <b>12月26日 (土)</b> 8:30～9:00 受付 9:00～10:30 <b>第2講義 (看護学部棟102・103講義室)</b> 「うむ力とうまれる力 (仮)」 担当者：母性看護学教育研究分野  10:40～12:10 <b>第3講義 (看護学部棟102・103講義室)</b> 「育つ力と育てる力 (仮)」 担当者：小児・発達看護学教育研究分野  12:20～12:35 閉講式

## 令和2年度高大連携「ウインター・セッション」プログラム概要

プログラム名： 社会福祉と生活の質	
岩手県立大学 社会福祉学部 募集人数30名	
<b>会場：</b> 岩手県立大学 <b>講義実施会場：</b> 共通講義棟講義室  <b>連絡先：</b> 岩手県立大学 教育支援室入試グループ (住所)滝沢市菓子152-52 (電話)019-694-2034  <b>交通案内：</b> (盛岡駅から) ・電車・・・IGRいわて銀河鉄道 滝沢駅下車(15分)、滝沢駅から徒歩15分 ・バス・・・岩手県交通 盛岡駅東口バス乗り場② 所要時間40分  <b>プログラム紹介：</b> 「福」と「祉」は、「しあわせ」や「ゆたかさ」を意味する漢字で、「福祉」は広義では「幸福」や「良く生きること」などを表現しています。 受講生には、福祉が人々の身近な暮らしにどのように関わり、生活の質を向上させるための方策や取り組みについて学んでいただきたいと思います。  <b>担当講師：</b> 高橋 聡 社会福祉学部長 柏葉 英美 准教授 川乗 賀也 准教授 田村 達 准教授 日野原由未 准教授	<b>スケジュール（予定）</b>  <u>12月25日（金）</u> 13:00～13:30 受付 13:30～13:50 開講式 13:50～14:30 全体講演 「大学で何を学ぶのか」 講演者：鈴木 厚人 学長  14:45～16:15 <b>第1講義（共通講義棟206）</b> 「善き生、善き社会を探究する」 担当者：高橋 聡  <u>12月26日（土）</u> 8:30～9:00 受付 9:00～9:40 <b>第2講義（共通講義棟206）</b> 「これからの認知症のある人へのケア」 担当者：柏葉 英美  9:45～10:30 <b>第3講義（共通講義棟206）</b> 「人の生活とストレス」 担当者：川乗 賀也  10:40～11:20 <b>第4講義（共通講義棟206）</b> 「大学で学ぶ心理学」 担当者 田村 達  11:25～12:10 <b>第5講義（共通講義棟206）</b> 「国際比較の視点から日本の少子化対策の課題を考える」 担当者：日野原 由未  12:20～12:35 閉講式

## 令和2年度高大連携「ウインター・セッション」プログラム概要

プログラム名： 自然言語×コンピュータ	
岩手県立大学 ソフトウェア情報学部 募集人数80名	
<b>会場：</b> 岩手県立大学 <b>講義実施会場：</b> 共通講義棟101講義室  <b>連絡先：</b> 岩手県立大学 教育支援室入試グループ (住所)滝沢市菓子152-52 (電話)019-694-2034  <b>交通案内：</b> (盛岡駅から) ・電車・・・IGRいわて銀河鉄道 滝沢駅下車(15分)、滝沢駅から徒歩15分 ・バス・・・岩手県交通 盛岡駅東口バス乗り場② 所要時間40分  <b>プログラム紹介：</b> 新聞記事やWebページなどの自然言語で記載されたデータをコンピュータで処理することは多様に行われている。本プログラムでは、このような文書データを処理する方法を、コンピュータが出現する前から現在に至るまで幅広く紹介する。また、その一部については、コンピュータを使わない小規模な演習を通して、その基本的な考えの理解を深める。 受講にあたっては英和辞典を持参してもらうとよい(電子的なものでも可だが、できれば冊子体がよい)。  <b>担当講師：</b> 樽松理樹 准教授	<b>スケジュール (予定)</b>  <u>12月25日 (金)</u> 13:00～13:30 受付 13:30～13:50 開講式 13:50～14:30 全体講演 「大学で何を学ぶのか」 講演者：鈴木 厚人 学長  14:45～16:15 <b>第1講義 (101講義室)</b> 「文書×コンピュータ： 文書をどのようにコンピュータで扱うのか」 担当者：樽松理樹 第1講義では、古典的な話から、コンピュータによる文書データの処理方法の基本的な考えを紹介する。  <u>12月26日 (土)</u> 8:30～9:00 受付  9:00～10:30 <b>第2講義 (101講義室)</b> 「電子メール×コンピュータ：迷惑メールを見つけ出せ」 担当者：樽松理樹 第2講義では、コンピュータにより迷惑メールを発見する方法を中心に、いくつかの事例を紹介するとともに演習を行う。  10:40～12:10 <b>第3講義 (101講義室)</b> 「レビューコメント×コンピュータ：本当の気持ちは？」 担当者：樽松理樹 第3講義ではレビューコメントからコンピュータで本当の評判を見出す方法を中心に、いくつかの事例を紹介するとともに演習を行う。  12:20～12:35 閉講式

## 令和2年度高大連携「ウインター・セッション」プログラム概要

**プログラム名：『多角的に物事を考える』とはどういうことかを体験する  
—地域文化を活かした地域活性化策を対象に**

**岩手県立大学 総合政策学部**

**募集人数40名**

**会場：岩手県立大学**

**講義実施会場：共通講義棟201（or307）、301、302-304  
308、309講義室**

**連絡先：岩手県立大学**

教育支援室入試グループ  
(住所)滝沢市巣子152-52  
(電話)019-694-2034

**交通案内：（盛岡駅から）**

- ・電車・・・IGRいわて銀河鉄道  
滝沢駅下車(15分)、滝沢駅から徒歩15分
- ・バス・・・岩手県交通  
盛岡駅東口バス乗り場② 所要時間40分

### プログラム紹介：

人口が急速に減少する地域社会において、地域をいかに活性化させ、盛り上げていくのかという課題は切実なものです。今回は、お金をかけずに観光客を呼び込めるような、地域文化を観光資源化する地域活性化策を例に、学部の特徴である『多角的に物事を考える』ということを実験してもらいたいと思います。

実際に、地域文化を観光資源にしようという試みは各地で行われています。しかし、地域文化を観光資源化することで、その足場を揺るがす事態も生じることがあります。例えば、地域の盆踊りを観光資源にすることによって、盆踊りを踊る人々が踊らなくなってしまうという現象がしばしば生じているのです。このように、地域文化の観光資源化は、自然環境を破壊せず、お金のかからない地域活性化策として万能薬のように見なされる一方で、地域文化の土台を喪失する危険性も孕むものです。

当日は、地域文化の観光資源化への異なる見解を示した上で、皆さんにその是非を考えてもらいます。そのことを通して『多角的に物事を考える』ことの面白さと難しさを実感してもらいたいと考えています。

### 担当講師：

広報交流・高大連携推進委員会  
他、3名（検討中）

### スケジュール（予定）

12月25日（金）

13:00～13:30 受付

13:30～13:50 開講式

13:50～14:30 全体講演

「大学で何を学ぶのか」

講演者：鈴木 厚人 学長

14:45～16:15

#### 第1講義（共通棟201or307）

「アイスブレイク・解題」

担当者：広報交流・高大連携委員会

15:15～16:15

「人口減少に抗するための地域活性化の方策（仮）」

担当者：未定

12月26日（土）

8:30～9:00 受付

9:00～10:00

#### 第2講義（共通棟301or307）

「地域文化を観光資源化するメリット（仮）」

担当者：未定

10:10～11:10

#### 第3講義（共通棟301or307）

「地域文化を観光資源化するデメリット（仮）」

担当者：未定

11:20～12:10

意見作成・発表・講評（共通棟302-304、308、309）

担当者：広報交流・高大連携委員会

12:20～12:35 閉講式

## 令和2年度高大連携「ウインター・セッション」プログラム概要

プログラム名： 元気でいる食事と運動習慣＜仮＞	
岩手県立大学 盛岡短期大学部 募集人数15名	
<b>会場：</b> 岩手県立大学 講義実施会場：共通棟301講義室、体育棟サブアリーナ  <b>連絡先：</b> 岩手県立大学 教育支援室入試グループ (住所) 滝沢市菓子152-52 (電話) 019-694-2034  <b>交通案内：</b> (盛岡駅から) ・電車・・・IGRいわて銀河鉄道 滝沢駅下車(15分)、滝沢駅から徒歩15分 ・バス・・・岩手県交通 盛岡駅東口バス乗り場② 所要時間40分  <b>プログラム紹介：</b> 今も将来も元気でいたい、そのためには食事や運動習慣が大切なのはよく知られていますが、そのためには何をしたらよいのか。 このプログラムでは、まず高校生同士でグループワークを行い、食事バランスガイドや食事カードを使ってバランスの取れた食事の確認をしてもらいます。次に、体組成計を使った体験です。筋肉量、体成分分析値などの測定データから、食生活や運動習慣に関する自己の「気付き」を促す機会とします。さらに、体力と栄養の関わりについての講義や、「立つ」「歩く」といった移動機能の測定を通じて、今も将来も元気でいるための食事とはどのようなものかを考えます。 グループワークや体験、講義を通して、元気の技を身につけましょう。 <b>事前課題：</b> 食事記録(1日分) <b>服装(2日目)：</b> ジャージ等動きやすい服装でおいで下さい。  <b>担当講師：</b> 諸岡 みどり 准教授 相馬 優 樹 講師 浅沼 美由希 講師 笹田 怜 子 助教	<b>スケジュール(予定)</b> <b>12月25日(金)</b> 13:00～13:30 受付 13:30～13:50 開講式 13:50～14:30 全体講演 「大学で何を学ぶのか」 講演者：鈴木 厚人 学長  14:45～16:15 <b>第1講義(共通棟301講義室)</b> 「グループワーク：元気になる食事を探ろう」 担当者：諸岡みどり 准教授  <b>12月26日(土)</b> 8:30～9:00 受付  9:00～10:30 <b>第2講義(体育棟サブアリーナ)</b> 「体験：体組成から自己の食生活や運動習慣に気づく」 担当者：浅沼美由希 講師  10:40～12:10 <b>第3講義(体育棟サブアリーナ)</b> 「講義：体力と栄養の関わりを知る」 担当者：相馬優樹 講師  12:20～12:35 閉講式

## 令和2年度高大連携「ウインター・セッション」プログラム概要

<b>プログラム名： 経営情報学の扉</b>	
<b>岩手県立大学 宮古短期学部 募集人数 30 名</b>	
<b>会場：</b> 岩手県立大学（滝沢） <b>講義実施会場：</b> 共通講義棟207  <b>連絡先：</b> 岩手県立大学 教育支援室入試グループ (住所)滝沢市菓子152-52 (電話)019-694-2034  <b>交通案内：</b> (盛岡駅から) ・電車・・・IGRいわて銀河鉄道 滝沢駅下車(15分)、滝沢駅から徒歩15分 ・バス・・・岩手県交通 盛岡駅東口バス乗り場② 所要時間40分  <b>プログラム紹介：</b> 本プログラムは宮古短期大学で学ぶ経営情報学の入門講座です。企業経営には情報の活用が欠かせません。本プログラムで企業と情報の関わりについて学びましょう。 第1講義では、企業と情報の関係について経営学の視点から学びます。企業がどのように情報を生かしているのかを知りましょう。 第2講義では、会計情報について学びます。会計といえば金額の計算と集計のイメージが強く持たれがちです。しかし現代社会での会計の役割は、社会で必要とされる企業に資金を回すために、正しい情報提供をして、経済発展に貢献することです。そのために会計情報がどのように用いられているのかを紹介します。 第3講義では、高校1年生で学ぶ確率の知識を広げ、経営情報学やオペレーションズリサーチの分野で確率の計算がどのように利用されているかを、実験などの実体験を通じて学びます。特に難しい予備知識は必要ありません。実験や計算を通じて確率の「あっ！」と驚く世界を体感してみましょう。  <b>担当講師：</b> 松本安司、平田哲兵、鈴木将人	<b>スケジュール（予定）</b> <b>12月25日（金）</b> 13:00～13:30 受付 13:30～13:50 開講式 13:50～14:30 全体講演 「大学で何を学ぶのか」 講演者：鈴木 厚人 学長  14:45～16:15 <b>第1講義（共通講義棟207）</b> 「企業と情報」 担当者 鈴木将人  <b>12月26日（土）</b> 8:30～9:00 受付  9:00～10:30 <b>第2講義（共通講義棟207）</b> 「会計情報の使いみち」 担当者 松本安司  10:40～12:10 <b>第3講義（共通講義棟207）</b> 「確率から始める統計学とオペレーションズリサーチ」 担当者 平田哲兵  12:20～12:35 閉講式

## 令和2年度 高大連携「ウインター・セッション」プログラム概要

<b>プログラム名： 人間と文化 ― 知力と感性のバランス ―</b>	
<b>盛岡大学 文学部 募集人数30名</b>	
<b>会場：</b> 盛岡大学 文学部 住所：岩手県滝沢市砂込808番地 電話：019-688-5555 全体会：D校舎アクティブホール 学部会場：D校舎アクティブホール  <b>交通案内：</b> 盛岡駅（東口2番乗り場）から岩手県北バスの「盛岡大学行き」又は「沼宮内行き」に乗車し、「盛岡大学」又は「盛岡大学前」下車。 いわて銀河鉄道の滝沢駅から岩手県交通のバスで「盛岡大学行き」に乗車し、「盛岡大学」下車。  <b>プログラム紹介：</b> 東日本大震災から10年目を迎えようとしています。今年には台風や豪雨のほか、更に世界全体をコロナ禍が襲うなど、近代世界が経験したことのない想像を絶する自然の力を人類は経験しています。大きな自然に比べれば、人間の存在と力はいかにとも微小であると言わざるを得ません。 しかし、今日まで自然が課してきた様々な試練の波をのり越え、私たちは「未来」に向けた努力を続け成果をあげてきたこともまた事実です。そこには、人間が自然とバランスをとろうとする優れた感性と知恵が脈動しています。 今回のプログラムでは、人間が成長過程で獲得してゆく知力と感性について「人間と文化」というタイトルのもとに、3人の講師がそれぞれの視点で考えてみます。  <b>担当講師：</b> 学 長     高 橋 俊 和 教 授     盛 島   寛（児童教育学科） 准教授   紅 林 健 志（日本文学科） 准教授   佐 藤 貴 保（社会文化学科）	<b>スケジュール（予定）</b>  <u>12月25日（金）</u> 13:00～13:30 受付 13:30～13:50 開講式 13:50～14:30 全体講演 「学ぶということⅡ」 講演者：高 橋 俊 和 学長  14:45～16:15 第1講義 「運動文化を考えるー世界記録をめぐる名勝負からー」 担当者：盛島 寛 教授  <u>12月26日（土）</u> 8:30～9:00 受付 9:00～10:30 第2講義 「日本文学と出版ー江戸時代の絵入り小説を例にー」 担当者：紅 林 健 志 准教授  10:40～12:10 第3講義 「シルクロードの古文書を読み解くー西夏王国の高齢者軍団の実像ー」 担当者：佐 藤 貴 保 准教授  12:15～12:30 閉講式



## 令和2年度 高大連携「ウインター・セッション」プログラム概要

### プログラム名：現代社会を生き抜く栄養・食生活－環境面からのアプローチ－

**盛岡大学 栄養科学部**

**募集人数30名**

**会場：**盛岡大学 栄養科学部

住所：岩手県滝沢市砂込808番地

電話：019-688-5555

全体会：D校舎アクティブホール

学部会場：A校舎A205講義室

#### 交通案内：

盛岡駅（東口2番乗り場）から岩手県北バスの「盛岡大学行き」又は「沼宮内行き」に乗車し、「盛岡大学」又は「盛岡大学前」下車。

いわて銀河鉄道の滝沢駅から岩手県交通のバスで「盛岡大学行き」に乗車し、「盛岡大学」下車。

#### プログラム紹介：

近年、食生活をはじめとするライフスタイルの変化や高齢化の進行によって、生活習慣病が増加し、大きな社会問題となっています。その対策として、栄養・食生活の改善によって病気の発症を予防したり、重症化を防いだりすることの重要性が注目されています。

食と栄養は私たちにとって身近な存在ですが、そこには様々な要素が影響を及ぼします。したがって、栄養・食生活の改善によって人々を健康にするためには、食と栄養を取り巻く環境を理解することが重要です。本プログラムでは栄養学を中心に、関連分野における重要な視点や知見を、最新のトピックを織り交ぜながら講義します。

#### 担当講師：

学 長 高 橋 俊 和

教 授 佐 藤 な な え（栄養科学科）

准教授 村 澤 秀 樹（栄養科学科）

助 教 長 谷 川 和 哉（栄養科学科）

#### スケジュール（予定）

##### 12月25日（金）

13:00～13:30 受付

13:30～13:50 開講式

13:50～14:30 全体講演

「学ぶということⅡ」

講演者：高 橋 俊 和 学長

14:45～16:15 第1講義

「『健康』を測る！－現代社会における健康維持と持続可能性のために－」

担当者：村 澤 秀 樹 准教授

##### 12月26日（土）

8:30～9:00 受付

9:00～10:30 第2講義

「暑さや寒さを食生活で乗り越えよう！－外部環境と栄養－」

担当者：長谷川和哉 助教

10:40～12:10 第3講義

「健康的な食生活の実践を促すアプローチとは？－食環境づくりと栄養・食教育－」

担当者：佐藤ななえ 教授

12:15～12:30 閉講式

## 令和2年度 高大連携「ウインター・セッション」プログラム概要

<b>プログラム名：</b> 幼児教育の世界 ―非認知能力を育む―	
<b>盛岡大学短期大学部</b> <b>募集人数20名</b>	
<p><b>会場：</b>盛岡大学短期大学部  住所：岩手県滝沢市砂込808番地  電話：019-688-5570  全体会：D校舎アクティブホール  学部会場：C校舎B312教室</p> <p><b>交通案内：</b>  盛岡駅（東口2番乗り場）から岩手県北バスの「盛岡大学行き」又は「沼宮内行き」に乗車し、「盛岡大学」又は「盛岡大学前」下車。  いわて銀河鉄道の滝沢駅から岩手県交通のバスで「盛岡大学行き」に乗車し、「盛岡大学」下車。</p> <p><b>プログラム紹介：</b>  少子化時代を迎え、子ども一人ひとりのニーズにこたえる保育・教育が求められています。これまでの学校教育では暗記型の詰め込み教育から、考える力や創造する力を養う教育に変わってきています。特に就学前の幼児教育においては、「生きる力」の基礎を培う段階として、意欲や協調性、忍耐力、創造力などの豊かな感情や非認知能力を育んでいくことが重要になってきています。  今回のプログラムでは、幼児教育において一人ひとりのニーズにこたえる豊かな感性や創造性を育む教育について、「幼児教育の世界」というタイトルのもと、3人の講師がそれぞれの専門分野からアプローチします。</p> <p><b>担当講師：</b>  学 長      高 橋 俊 和  教 授      嶋 野 重 行（幼児教育科）  准教授      岸      千 夏（幼児教育科）  准教授      岩 崎 基 次（幼児教育科）</p>	<p><b>スケジュール（予定）</b></p> <p><u>12月25日（金）</u></p> <p>13:00～13:30 受付  13:30～13:50 開講式  13:50～14:30 全体講演  「学ぶということⅡ」  講演者：高 橋 俊 和 学長</p> <p>14:45～16:15 第1講義  「博士ちゃん一個性を生かす  幼児教育―」  担当者：嶋 野 重 行 教授</p> <p><u>12月26日（土）</u></p> <p>8:30～9:00 受付  9:00～10:30 第2講義  「子どもの“遊び”はおもしろい」  担当者：岸      千 夏 准教授</p> <p>10:40～12:10 第3講義  「子どもを育む自然環境」  担当者：岩 崎 基 次 准教授</p> <p>12:15～12:30 閉講式</p>

## 令和2年度高大連携「ウィンター・セッション」プログラム概要

<b>プログラム名：新しい経済学への招待 ― 地域貢献人材に求められるインテリジェンス</b> <b>富士大学 経済学部 募集人数 30 名</b>	
<b>会場：</b> 富士大学経済学部 (住所) 〒025-8501 花巻市下根子450-3 (電話) 0198-23-6221  <b>交通案内：</b> 岩手県交通バス(花巻駅④並びに北上駅①乗り場乗車)「富士大学前」下車  <b>プログラム紹介：</b> 多発する自然災害、感染症の罹患、少子高齢化、グローバル経済がもたらす社会不安など高リスク環境が拡大する中で、安全な生活とその質的向上を目標とする持続可能な社会の建設が求められています。そこで必要とされるのは、自然科学だけでなく、人文・社会科学の知見を備え、経済格差のない個性豊かな地域社会の創造に貢献できる人材です。それには「新しい経済学」の知識が不可欠！さあ、「新しい経済学」の世界を覗いてみましょう。  <b>担当講師：</b> 岡 田 秀 二     学長 金 子 賢 一     教授 内 城 寛 子     准教授 高 畑 裕 樹     講師	<b>スケジュール</b>  <u>12月25日(金)</u>  13:00～13:30 受付 13:30～13:50 開講式  13:50～14:30 全体講義 「地方創生と新しい経済学」 岡 田 秀 二     学長  14:45～16:15 第一講義 「地域を豊かにする経済学―6次産業化が地域に与える可能性」  高 畑 裕 樹     講師  <u>12月26日(土)</u>  9:00～10:30 第二講義 「スポーツで地域を豊かに―スポーツ経営学を踏まえて―」 内 城 寛 子     講師  10:40～12:10 第三講義 「超高齢社会を支える最先端技術～福祉ロボットの現状と未来～」 金 子 賢 一     教授  12:15～12:30 閉校式

## 令和2年度高大連携「ウインター・セッション」プログラム概要

<b>プログラム名：プロレベルの感染症対策技術を体験する</b> <b>岩手医科大学 医学部 募集人数20名</b>	
<b>会場：</b> 岩手医科大学矢巾キャンパス （住所）矢巾町医大通1-1-1 （電話）019-651-5111（代表）  <b>交通案内：</b> 矢幅駅（徒歩15分 1.2km） →矢巾キャンパス  <b>プログラム紹介：</b> 人類は新型コロナウイルス感染症に関わらず、多くの感染症と戦ってきた。このような戦いは医療環境では日常的に行われてきた。 本体験プログラムでは、感染対策のためのより高度な知識や医療の最先端で実際に用いられている防御技術について、その一部を実際の施設や装備を用いて疑似体験することができるプログラムである。  <b>担当講師：</b> 櫻井 滋 教授 近藤 啓子 看護師長 感染制御部スタッフ	<b>スケジュール（予定）</b>  <u>12月25日（金）</u> 13:00～13:30 受付 13:30～13:50 開講式 13:50～14:30 全体講演 「大学で何を学ぶのか」 講演者 祖父江 憲治 学長  14:45～16:15 第1講義 「プロレベルの感染症対策とは何かを知ろう」 担当者 櫻井 滋 教授  <u>12月26日（土）</u> 8:30～9:00 受付 9:00～10:30 第2講義 「プロレベルの感染症対策と他職種との連携」 担当者 近藤 啓子 （感染制御部 看護師長）  10:40～12:10 第3講義 「プロレベルの感染症対策技術を実体験する」 担当者 櫻井 滋 感染制御部スタッフ  12:15～12:30 閉講式

## 令和2年度高大連携「ウインター・セッション」プログラム概要

プログラム名：歯周病について学ぼう	
	岩手医科大学 歯学部      募集人数30名
<b>会場：</b> 岩手医科大学 (電話) 019-651-5111 (代表) 矢巾キャンパス (住所) 矢巾町医大通 1-1-1 内丸キャンパス (住所) 盛岡市内丸 19-1  <b>交通案内：</b> <b>【矢巾キャンパス】</b> 盛岡駅→矢幅駅(徒歩15分 1.2km)→矢巾キャンパス <b>【内丸キャンパス】</b> <バス>盛岡駅→「中央通り1丁目」「岩手医大前」下車→(徒歩2分)→岩手医科大学 <車>盛岡駅から10分 <徒歩>盛岡駅から30分  <b>プログラム紹介：</b> 歯周病は、テレビ番組、コマーシャル等で多く取り上げられている生活習慣病です。この病気は高校生の皆さんにとって、今はおそらく無縁かと思います。しかし健康な今だからこそ、一生自分の歯で咬めるよう将来に備えて知っておくべき病です。歯周病の原因、その進行と治療方法、そして歯周病と全身との関わり等について紹介します。  <b>担当講師：</b> 佐々木 実 教授 佐々木 大輔 准教授 八重柏 隆 教授	<b>スケジュール (予定)</b>  <u>12月25日(金)：矢巾キャンパス</u> 13:00～13:30 受付 13:30～13:50 開講式 13:50～14:30 全体講義(全学部共通) 「大学で何を学ぶのか」 講演者：祖父江 憲治 学長  14:45～16:15 第1講義 「歯周病の原因となる口腔細菌」 担当者 佐々木 実 教授  <u>12月26日(土)：内丸キャンパス</u> 8:30～9:00 受付 9:00～10:30 第2講義 「歯周病の進行とその治療法」 担当者 佐々木 大輔 准教授  10:40～12:10 第3講義 「歯周病と全身の関係」 担当者 八重柏 隆 教授  12:15～12:30 閉講式

## 令和2年度高大連携「ウインター・セッション」プログラム概要

プログラム名：薬剤師になるために必要なことは？	
岩手医科大学 薬学部 募集人数40名	
<b>会場：</b> 岩手医科大学矢巾キャンパス （住所）矢巾町医大通1-1-1 （電話）019-651-5111（代表）	<b>スケジュール（予定）</b>  <u>12月25日（金）</u> 13:00～13:30 受付 13:30～13:50 開講式 13:50～14:30 全体講演 「大学で何を学ぶのか」 講演者 祖父江 憲治 学長  14:45～16:15 第1講義 「薬学を学ぼう・病院薬剤師の仕事」 担当者 三部 篤 薬学部長 他  <u>12月26日（土）</u> 8:30～9:00 受付 9:00～11:00 第2講義 「調剤体験～軟膏、注射剤調製～」 担当者 松浦 誠 特任教授 他  11:10～12:10 第3講義 「薬をのんだあとの薬の運命 ～微分や積分も患者さんのためになる～」 担当者 小澤 正吾 教授 他  12:15～12:30 閉講式
<b>交通案内：</b> 矢幅駅（徒歩15分 1.2km） →矢巾キャンパス	
<b>プログラム紹介：</b> 今年、病院薬剤師が主人公のドラマ・漫画「アンサンングシンデレラ」が話題になりました。実際の仕事は作品と同じなのでしょうか？どのような知識・技能を学ぶと薬剤師として医療現場で活躍できるのでしょうか？短い時間ですが、体験・講義を通じて学んでみましょう。	
<b>担当講師：</b> 三部 篤 薬学部長 小澤 正吾 教授 松浦 誠 特任教授 朝賀 純一 准教授 高橋 宏彰 助教	

(

## 令和2年度高大連携「ウインター・セッション」プログラム概要

<b>プログラム名：人々の生活を支える看護 ～感染症と看護～</b> <b>岩手医科大学 看護学部 募集人数30名</b>	
<b>会場：</b> 岩手医科大学矢巾キャンパス (住所) 矢巾町医大通1-1-1 (電話) 019-651-5111 (代表)	<b>スケジュール (予定)</b>  <u>12月25日 (金)</u> 13:00～13:30 受付 13:30～13:50 開講式 13:50～14:30 全体講演 「大学で何を学ぶのか」 講演者 祖父江 憲治 学長  14:45～16:15 第1講義 「看護学の世界へようこそ」 担当者 嶋森 好子 看護学部長  <u>12月26日 (土)</u> 8:30～9:00 受付 9:00～10:30 第2講義 「感染症の流行と対応の歴史」 担当者 小松 恵 講師 他  10:40～12:10 第3講義 「感染予防のために何をする？」 担当者 野里 同 助教  12:15～12:30 閉講式
<b>交通案内：</b> 矢幅駅 (徒歩15分 1.2km) →矢巾キャンパス	
<b>プログラム紹介：</b> 新型コロナウイルス感染症の最前線で、看護職は、正しい情報を確認し科学的根拠に基づいた予防策を実践しています。さらに、感染症が及ぼす心理面へのケアも実践しています。本プログラムは、感染予防に対する看護師の仕事についてお話しします。この、看護体験を通して興味を深め進路選択の助けとなる場を提供します。	
<b>担当講師：</b> 嶋森 好子      看護学部長 三浦 幸枝      准教授 小松 恵        講師 野里 同        助教他	